

ぎかい



2011.7.15

小国町議会だより 第109号

小国小学校建設用地の取得決定

主な内容

■ 6月定例会・臨時会	2 ページ
■ 委員会構成	3 ページ
■ 委員会レポート	4～5 ページ
■ 議会の動き	5 ページ
■ 一般質問	6～9 ページ
■ 西置議会・置広議会	10 ページ
■ 研修報告	11 ページ
■ まちかどインタビュー	12 ページ

表紙写真／叶水保育園児

小国町議会

ホームページ <http://www.town.oguni.yamagata.jp/gikai/index.html>
e-mail gikai@town.oguni.yamagata.jp

小国町議会

検索

小国小学校 建設用地の取得決定

▶ 平等寺裏から見た小学校建設予定地遠景



平成23年度
6月定例会
6月2日(木)～6日(月)

6月定例会は5日間の日程で開かれ、一般会計補正予算・条例の一部改正・財産取得・その他の案件など11件を可決した。一般質問は4名の議員が町政の諸問題を町長に質した。

一般会計

総額2千800万円の補

正可決

◆ 人事異動に伴う人件費の組替え

◆ 老朽化町有財産の解体

◆ 小学校建設予定地の造成費

◆ その他

質疑 本間議員、米野議員、小関議員、小林議員

特別会計

◆ 訪問看護特別会計補正

事業会計

◆ 町立病院事業会計補正

条例改正

◆ 地方税法の改正に伴う条例改正

財産の取得

◆ 除雪ドーザ(13t級)1台
予定価格
1千102万1千850円

※内消費税

52万4千850円

◆ 小国小学校建設予定地

1万9千300・80㎡

予定価格

7千792万4千81円

質疑 小林議員、米野議員

反対 小林議員

町道認定の改廃

◆ 新たに8路線を認定し、7路線を廃止した。

道路改良

◆ 町道平林1号線改良舗装工事

請負業者 小国開発(株)
契約価格
6千772万5千円

※内消費税

322万5千円

教育委員

五十嵐秀子氏(再任)の任命に同意した。

農業委員

斉藤ふみ子氏(増岡)を議会推薦した。

臨時議会

3月25日臨時議会が開かれ、専決処分等承認された。
◆ 平成22年度一般会計補正(震災関連)専決処分
◆ 小国町入湯税課税の特例に関する条例制定

委員会構成決まる

任期満了に伴う町議会議員選挙がおこなわれ、議員定数の改正により、12名から2名減の10名の新しい議員が誕生した。

新議員での初議会が5月2日に招集され、正副議長をはじめとした新しい議会構成が決まった。

- 議長 伊藤 重廣
- 副議長 安部 春美

総務厚生常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 高野 健人 |
| 副委員長 | 齋藤 弥輔 |
| 委員 | 小関 和好 |
| | 米野 貞雄 |
| | 伊藤 重廣 |
| | 今 正徳 |



文教産建常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 遠藤 和彦 |
| 副委員長 | 小林 嘉 |
| 委員 | 小関 和好 |
| | 安部 春美 |
| | 本間 義信 |
| | 齋藤 弥輔 |



- 置賜広域行政事務組合議員
小林 嘉 安部 春美 伊藤 重廣

- 西置賜行政組合議員
小関 和好 齋藤 弥輔 遠藤 和彦

- 山形県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟議員
小関 和好 齋藤 弥輔 遠藤 和彦
小林 嘉 安部 春美 本間 義信
伊藤 重廣

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 小林 嘉 |
| 副委員長 | 小関 和好 |
| 委員 | 齋藤 弥輔 |
| | 遠藤 和彦 |



議会運営委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 本間 義信 |
| 副委員長 | 今 正徳 |
| 委員 | 遠藤 和彦 |
| | 高野 健人 |



委員会レポート

Committee Report

「常任委員会の活性化を進める」として、12月定例会の議会改革活性化特別委員会の報告に基づき、今後2年間の活動方針について各常任委員長に述べてもらった。

総務厚生常任委員会

新しい委員会のメンバーが決まり、精力的に活動を始めました。6人の構成で今後2年間一人ひとりがテーマを持ち、それを委員同士で議論を深めることにしました。

◆テーマ

- ふるさとづくり事業
- 福祉全般
- ふるさとの活性化
- 自主防災組織

● おぐに保育園の改築

初めは、総務厚生常任委員会が担当する、総務企画課、町民税務課、健康福祉課、



おぐに保育園



癒しの園

町立病院・老健施設の所管事務調査を行い、各課の全般的なことの説明を受けました。

次にそれを受けて、総務企画課から「新小国町行政改革大綱」の詳しい内容を聞きました。

今年3月に出来たもので大綱の基本的な考え方と今後の取り組みがまとめられています。

このように、所管事務調査も行いながら、それぞれのテーマも一緒に考えていくことにしています。

文教産建常任委員会

交流人口の増加と

街の賑わいづくりを目指して

5月20日に本委員会を開催し、所管事務調査を行った。

各所管課からは、①日本重化学工業(株)の希少金属利用産業等高度化推進事業の支援、②小国小学校改築事業の進捗状況、③休校の小・中学校の活用等の説明を受けた。

所管課の今年度活動方針を受け、町が有している様々な課題に対して、委員同士

の意見交換、調査、集約を徹底し、事業の計画性、実施状況、課題を踏まえて委員会活動を行うこととし、委員からは多くの課題が出されたが、「交流人口の増加策」と「中心商店街の賑わいづくり」の二つのテーマに絞り込んだ。今後は課題の整理をしていくこととした。



おぐに鍋まつり



おぐに石楠花まつり

議会広報特別委員会

町民の皆様に「わかりやすく、読んでいただける議会だより」をスローガンに努力いたします。

特に、昨年12月定例会の小国町議会改革活性化特別委員会報告内容「広報、広聴の活性化」に、具体的に取り組みます。

うこと。

イ 小国町議会ホームページを充実し、即時性や検索機能を備えた議会情報を町民に提供していくと同時に、インターネットの双方向性を活かしていくこと。

ウ 議会中継、議会ホームページ、町広報誌の長所短所を吟味し、議会広報誌の位置づけを明確にし、その特長をさらに活かしていくこと。



新メンバーで頑張ります

広報委員会での編集作業

議会の動き

5月

6月

7月

■定例会

- 6/2～6/6
- ・第6回定例会

■臨時会

- 5/2
- ・第5回臨時会(初議会)

■議会運営委員会

- 5/2
- ・正副委員長の互選等について
- 5/12
- ・運営委員会の運営等について
- 5/25
- ・第6回定例会の運営について
- 6/6
- ・先例等について

■総務厚生常任委員会

- 5/2
- ・正副委員長の互選等について
- 5/18
- ・所管事務調査(各所管課)
- ・本年度事業概要等について
- ・委員会活動方針について
- 5/26
- ・委員会活動方針について
- 6/6
- ・所管事務調査(総務企画課)
- ・小国町総合計画、新小国町行財政改革大綱等について
- 6/21
- ・行財政改革大綱等について

■文教産建常任委員会

- 5/2
- ・正副委員長の互選等について
- 5/20
- ・所管事務調査(各所管課)
- ・本年度事業概要等について
- ・委員会活動方針について
- 6/3
- ・所管事務調査(産業振興課)
- ・白い森(株)経営刷新計画について

- 6/9
- ・調査検討課題について
- 6/22
- ・課題整理作業
- ・所管事務調査(教育委員会)
- ・小国小学校改築事業の進捗状況について
- ・課題整理作業

■議会広報特別委員会

- 5/2
- ・正副委員長の互選等について
- 5/24
- ・広報研修会
- 5/30
- ・広報視察研修
- 6/3
- ・広報編集方針等について
- 6/14
- ・広報編集作業
- 6/28
- ・広報編集作業
- 7/5
- ・広報編集校正
- 7/7
- ・広報編集校正

地域主体の町づくりを！ ＝職員の地域担当制早く＝

小 林 嘉



小林 嘉 議員

職員の地域担当制以外で有効な具体策はあるのか？

小林 町づくりは地域づくりに尽きる。地域力をつける方策をとるべき。そのためには「職員の地域担当制」を早期に実現すべきである。住民個々の努力だけでは限界がある。「職員の地域担当制」以外に有効な具体策があれば提案して欲しい。

緑のふるさと協力隊配置

町長 少子高齢化の進行は、既存の集落だけで受け継いできたムラ機能の全てを担っていくことは難しい面もある。第四次小国町総合計画等では、基礎集落を包含した六つの圏域を基本単位としている。当然、地域主体となるよう誘導し、町も積極的に関わっていく。

昨年度、南部地区に「緑のふるさと協力隊」2名を配置した結果、地域から「勇気と元気と活力をもらった」との評価をいただき、今年

度は白沼地区にも配置した。町の担当職員は、隊員と地区との調整などを通じて地域との関わりを深めている。圏域の状況は、環境、課題等、それぞれ相違があり、一斉、一律の推進は難しい。住民意識の醸成、課題の解決手法の検討を行い、実施時期を見極め組織横断的に展開し、地域力向上に努めていく。

小林 国・県の施策待ちやハード面に頼った施策展開から、人の心を動かすソフト面に力を入れた施策に転換すべきである。

町長 かつて、内需拡大を求められ、地方単独事業を展開していた時代は「ハードからソフトへ」という転換が求められた。しかし、本町の社会基盤の整備は、全国・県平均を下回っている。ハードもソフトも必要である。過疎債を活用し、各種事業を厳選しながら施策展開している。



ふるさと協力隊の活躍

小林 小国町行政は、事務執行型と提案型のどちらを指向しているのか。

町長 正確・効率的な事務執行は極めて重要。住民の考え・要望も大事。両方複合的に進めている。

職員の地域担当制が必要

小林 「ふるさと協力隊」から「気づき」をもらったというが、「気づき」が地

域に根付くまで、事務能力の高い職員が地域に入る地域担当制が必要である。

**知恵と力を
だしている**

町長 「ふるさと協力隊」事業に、職員も知恵と力を出している。長い目で見て欲しい。

その他の質問
● 開かれた町政について



齋藤 弥輔 議員

休校小中学校について

齋藤 弥輔

利活用の進捗状況は？

齋藤 小玉川小中学校校舎の利活用は、芸術分野からの期待とあるが、地域住民、町民との接点が見えていない。玉川小中学校は「玉川がつこう倶楽部」を立ち上げ活動を開始したが、地元の負担だけが増してはいないのか。また、足中分校の利活用が見えていない。伊



玉川がつこう倶楽部主催の山菜まつり

佐領小学校は、年度内に報告書を作成するための集まりに、振り回された感じがしてならない。

町長 小玉川小中学校は、地域住民が「学習の場」としての利活用を望んでいることから、昨年は1名の東北芸術工科大学卒業生が創作活動の場として活用。今年度はさらに2名の芸術家を志す若者が加わる予定を

しており、今後も期待される。

玉川小中学校は「人を呼び込み活気ある地域づくり」「安心して暮らせる地域づくり」の2つを目標に、今年度から「玉川がつこう倶楽部」を立ち上げ「山菜まつり」などが実践された。

足中分校は老朽化が著しいことから一部解体を視野に入れ、足中住民のコミュニティの場として活用。

伊佐領小学校はアンケート調査、意見交換を実施、今年度は地域活動の拠点となる利活用について地域住民と協議を進める。

齋藤 1つに集約を決定した時に休校する学校の利活用を考えていなかったのか？

町長 各学校の保護者ならびに、地域住民と教育環境を確保するための協議を最優先して進めてきた。休校後の学校の利活用は次の段階として検討を進めてきた。

齋藤 休校間際になって教

育委員会と地元だけで話し合って決めてよいものか？

町長 学校統合への合意形成を最優先して取り組んできた。休校後の利活用は統合決定後になり、所管する教育委員会が担当窓口となり、業務に当たっている。

町づくり、地域づくりという側面からも大きく関わってくるので関係課での議論、協議等を重ねながら、利活用の方策を検討する。



伊佐領小学校



小玉川小中学校

どうする「道の駅」活性化

「農産直売所」「商店街」「景気・雇用」 「パークゴルフ場」「ふれあいの家」

小 関 和 好



小関和好 議員



飯豊道の駅「めづみの里」



小国町の顔 道の駅「ぶな茶屋」

「道の駅」活性化と
「農産直売所」に
関して

小関 「道の駅」の活性化と「農産直売所」は、観光・農林業の活性化・雇用の創出まで期待できると考えるが、町長は、これまで度重なる一般質問に前向きな答弁をしていながらも何故か具体化に至っていないようにだが、今後は、どのように

していくのか。又、「農産直売所」の建設の見通しは、

町長 「道の駅」は、「休憩機能・情報発信機能・地域連携機能」など、地域の個性を生かした賑わいの場として内外にPRし、地域イメージの向上と交流人口の拡大を図る施設であると強く認識している。

「農産直売所」に関しては、別棟による直売所の運営は極めて難しいとの結論で、平成22年度の建設は見合わせられた。

「緊急景気・雇用対策本部」の成果は？

小関 景気・雇用について町内は非常に厳しい状況で商業者等も今後は廃業・統合・業種転業等の転換を余儀なくされると考える。

町の緊急景気・雇用対策本部の今までの具体的成果と今後の課題を聞きたい。

町長 総合計画の商業・商店街に係る内容は、「地域産業の振興と新たな産業の

創出」と位置づけ、町内商業の振興に向けたアスモや商店街のにぎわいづくりを目指している。具体的には「買い物宅配サービス事業」、「小国いきいき街づくり公社支援事業」等を掲げ、中央商店街の振興等に努めている。

小国町緊急景気・雇用対策本部では、現在まで総額6億8千万に昇る補正予算を編成し、町内の経済・雇用環境改善に効果があつたものと認識している。

雇用対策では、平成21・22年度の2力年で、町の臨時職員として28名、事業者への委託事業の中で就労された方を含めると46名の雇用が確保された。

パークゴルフ場の
維持管理費
どうする？

小関 叶水地区にできるといふパークゴルフ場の維持管理費は、誰がどうするか。

町長 地元からの強い要望

を受け、ダム事務所と協議をして設置した。維持管理費は町が負担する。

財源は、使用料収入を基本にし、収入が下回った場合は、町が負担する。

「ふれあいの家」は
どうなるか？

小関 統合小学校の建設予定地にある「ふれあいの家」をどうするのか。又、移設する場所と時期は。

町長 ふれあいの家は、移設の方で検討している。予算・規模・時期に関しては、新しい小学校の建設と併せ、「ふれあいの家」移設にあたっての諸問題を整理しながら具体的に検討していく。



雪の日・雨の日大活躍の「ふれあいの家」



本間義信 議員

「地域で元気に自分らしく 共に生きる共生の地域づくり事業」を どう考えるか

本間 義信

本間 高齢化が進む小国町において、介護度がないため介護保険等の公的サービスを利用できる単身高齢者や老夫婦世帯が増加しており、「介護度はないが、掃除、洗濯、食事づくり、買い物、通院などが大変になってきた。」という声が大きくなっている。「地域で元気に自分らしく共に生きる共生の地域づくり事業」は地域の空き家を利用して入居でき、通所でき、安否確認や配食サービス、買い物・通院サポートが受けられるもので、地域の助け合い、見守り、支え合いや、つながりを強化、充実を目的とした事業だが、この事業を小国町で展開することについて町の考えをお聞きます。

具体的な内容を 承知していない

町長 提案の事業については、介護保険制度並びに公営住宅法によらないNPO法人による独自の事業計画であり、サービスの対象者

や展開手法、利用形態など、具体的な内容を承知していないので答弁は差し控えるが、地域の方々はもちろん、社会福祉協議会やサロンなどの地域コミュニティの実践事業と一体となつて、地域で共に助け合い、支え合

いながら、安心して暮らすことのできる環境づくりを進めていくことが何より大事であり、集落の機能維持に繋がるものと考えている。このことを基本に実施している安心見守りサービスなどの事業展開により、介



元気サロン（樽口）



新輪サロン（増岡・大宮）



和みサロン（平林）

護予防や在宅での自立した日常生活の支援が、お年寄りの孤独感や不安感の解消にも結びついているので、高齢者が住み慣れた地域で安心して元気に暮らすことができるよう、引き続き、関係機関との一層の連携を図りながらサービスの拡充に努めていきたいと考えている。

西置賜行政組合議会

5月27日(金)、西置賜行政組合議会臨時会が行われた。

■事務局より職員の紹介

■長井市、小国・白鷹両町では議員改選があつたため、初議会として正副議長及び運営委員を選出した。

●議長 渋谷佐輔(長井市)

●副議長 菅原隆男(白鷹町)

●議会運営委員長

我妻 昇(長井市)

●議会運営副委員長

田中 孝(白鷹町)

●同運営委員

遠藤和彦(小国町)

山口文隆(飯豊町)



岩手県大船渡市で活躍する緊急消防援助隊

■救助工作車の取得について

■東北地方太平洋沖地震に係る消防活動報告(緊急消防援助隊活動を含む。)

西置賜行政組合の概要

◆構成市町

長井市、白鷹・飯豊・小国町の1市3町

◆西置賜行政組合の各部署

消防本部(長井市)、消防署(長井)、分署(白鷹・飯豊・小国の三町)、養護老人ホームおいたま荘(長井市)

置賜広域行政事務組合議会

置賜広域行政事務組合の主な事業は、置賜一円のし尿・家庭ごみの共同処理施設の維持管理、ごみ焼却炉の余熱利用、コンピユーター利用による行政事務の情報処理共同事業等があります。

置広議会の構成等について紹介します。(平成23年5月現在)

◆構成市町

米沢・南陽・長井の各市、高畠・川西・白鷹・飯豊・小国各町の3市5町

◆組合の執行機関

理事長1名(米沢市長)

理事7名(理事長以外の市町長7名) 会計管理者1名

◆事業所

事務局総務課

米沢クリーンセンター

長井クリーンセンター

南陽クリーンセンター

千代田クリーンセンター

死亡獣畜保冷センター

小国リレーセンター

南陽やすらぎ荘

◆議決機関

議会議員24名

(構成市町の議長及び議会から)



家庭ごみの行き先は…置広組合

選任された2名

◆常任委員会

第1委員会 伊藤重廣委員

(余熱利用施設)

第2委員会 安部春美委員

(情報処理共同事業)

第3委員会 小林 嘉委員

(し尿・ごみ処理)

◆定例会

年2回(2月、11月)

5月臨時会

5月27日(金)

議題 ●議長選出

●その他専決処分

研修報告

広報委員会

読みやすい紙面作りを目指して(山形)
議会インターネット中継の視察(白鷹)

町村議会広報研修会

■期 日 5月25日(火)

■場 所

山形市 山形国際交流プラザ

■講演

「議会だより編集テクニック」

講師 エディター

城市創氏

山形県町村議会議長会主催の第28回町村議会広報研修会が開催され、新メンバーとなる広報委員4名が参加した。

見やすい広報をつくるための編集テクニック、他町の議会広報クリニックを聴講した。これからの広報づくりに大いに参考となった。



議長あいさつ

小国町議会議長

伊藤 重 廣



議会議長を仰せつかり、責務の重大さを感じているところです。

「議会は何をしているのか」との声も多くありましたが、その対応の一つとして、議場のインターネット中継を進めることにいたしました。

また、議員各位の協力を得ながら、町民皆様の負託にこたえるべく議会運営の活性化に取り組む所存であります。

議会は、町行政が町民のためになる事業を行っているのか、適正であるのか、町の将来を見通しているのか等の監視をするとともに、町発展のため活発な討論を行い、提言することが重要であると思っています。

町民の皆様におかれましては、常に議会を注視し、議会に対してのご質問、ご意見をお寄せくださるようお願い申し上げます。

議会広報視察研修

■期 日 5月30日(月)

■場 所

白鷹町議会会議室

議会広報特別委員会では、インターネット議会中継を進めるための調査・検討をすることとなった。今後のインターネット中継及び議会だよりの編集等について、先進地である白鷹町議会を視察し研修を行った。

ネット配信の諸問題と広報誌編集についての意見を交わした。



白鷹町議会議場



中継カメラ



放送機器

まちかど

Machikado-Interview

インタビュー

町の人から
ちょっとひとこと

Q プロフィール

鳥取県出身 平成9年に結婚して上大石沢に在住。お米と雑穀の専業農家。



山口ひとみさん

Q 熱心に取り組んでいることは何ですか？

● 自然の恵を活かした暮らしを楽しみたい。
去年から旬彩工房を始め安心おやつを提供しています。
● 子供達に安心して残せる環境を支え合う仲間作り。
生活クラブの小国地区担当や小国町の食育推進、叶水小中学校のPTA活動にがんばっています。
さらに今年は、宇宙に打

上げられていた秘伝豆と雑穀の種が無事帰ってきたので、「秘伝豆100粒運動」を町内の学校や生産者の方と協力して展開しています。
秘伝豆を育てる中で、いのちのすばらしさや、おいしく食べることや、醸造文化のすごさなどいろいろな体験できたらと思っています。

Q 町や議会に望むことは？

小国町の素晴らしいところと発信してほしいです。
大人も子供も楽しめ、全国的にも興味が得られる宇宙プロジェクトの推進にもご協力いただければうれしいですし、ぜひ町おこしに活用してほしいと思います。



宇宙大豆授賞式

想い出の学び舎

表紙の言葉



上大石沢

吉田 久美

「おはよう」今日も階段を昇ると、先生方の明るい笑顔が輝いています。園の中には元気に遊ぶ2人のお友達。「遅いよ、待っていたよ」の声に迎えられる、ちよつぷりうに上がっていく我が家の次男っ子。園児はたったの3人だけど、皆、仲良しで先生方や地域の皆さんの優しいまなざしにはぐくまれスクスク成長しています。
私は他県出身なので、この保育園は今のところ思い出の学び舎ではないのです。でもお世話になった長男やこの次男っ子が大きくなって保育園時代のことを思い出す時がくるのでしょうか。階段を昇って笑顔で迎えられる登園のこと、お友達と走って笑っていた日々、先生の大きな手でつないでもらったこと、そんなキラキラした思い出は、子供達の宝物になると思います。
親子共に色々なことを学ばせてもらった叶水保育園が、私にとっての思い出の学び舎になるのでしょうか。



叶水保育園

次は9月定例会です。傍聴においでください。

議会に対してのご質問、ご意見をお寄せください。

議会事務局(62)2448

編集後記

◆ 3月11日の大震災から百三十日目の7月15日、新議会第1号の発行となりました。被災地の多くの犠牲者に鎮魂の祈りがささげられ、小国町には、現在64名の方々が避難されております。一日も早い復興を願うとともに、私たちも出来ることから支えあいの輪を広げたいものです。

◆ 大震災は既存のシステムすべてを問い直す機会となっています。新編集委員4名、心新たに頑張ります。

議会だよりは、今回から表紙のロゴを一新しました。内容も徐々に充実させていきたいと思っています。

議会のインターネット中継は、先行する白鷹町議会の状況を調査し、実施に向けて取り組んでいます。

小林(記)

発行責任者

議長 伊藤 重廣

議会広報特別委員会

委員長 小林 嘉

副委員長 小関 和好

委員 齋藤 弥輔

委員 遠藤 和彦